函館市立湯川中学校　生徒支援だより

湯倉ヶ丘の学び舎

発行　生徒支援部
令和6年 10 月 30 日
第7号
文責：山田好一

廊下にある作品や掲示物を見るたびに思うこと

上の２枚は美術の作品、下の２枚は学年で作成した掲示物で共に廊下に掲示されています。掲示物が増えていたり、季節によって様変わりしたりすると、つい足を止めて見入ってしまいます。廊下に掲示されることで学年問わず多くの人が見ることができるのですが、掲示物を見るたびに思うことがあります。

それは**「(この光景は)当たり前ではなく、湯中みんなで作り上げているものだ」**ということです。

他クラスの友人の作品を見られるので嬉しい。
(会心の出来だから)みんなに見てもらえて嬉しい。
他学年の人に「上手だね」と言ってもらえた

作品を馬鹿にする人がいるので掲示してほしくない
いたずらされるので掲示してほしくない
壊される可能性があるので飾ることができない

どちらの雰囲気も、それを作っているのは学校の主役である生徒の皆さんです。

雰囲気は毎日の積み重ねで作られています！

“身近で起こりうる”という自覚を！

緊縛強盗事件、トクリュウ(匿名・流動型犯罪グループの略称)、闇バイト。以前より目にする機会が圧倒的に増えました。

それでも＜首都圏近郊での出来事＞であり、遠い場所での出来事と思っていましたが、今月、北海道でも緊縛強盗事件が発生しました。また、千葉県では中高生が強盗予備容疑で逮捕。こちらもトクリュウとの関連しているのではという見方をされています。

以前より SNS 等の使い方について注意喚起をしていますが、簡単に外の世界とつながるネットはやはり危険が潜んでいます。私たちより使いこなせていてもまだ中学生。今後もご家庭をはじめ大人のサポートが不可欠です。

安易にアクセスしない。(興味本位でやらない。世の中うまい話はありません)
何か起こったらすぐに大人に相談。(早期解決が被害縮小につながります)
個人情報を勝手に教えない。(友人の物(ID やアカウント)も勝手に教えない)

ご家庭で使用状況を把握されていますか？

被害に遭ったご家族もお子さんも「自分は大丈夫」と思っていたのに、トラブルに巻き込まれているのです！